

特別賞(広々デザイン賞)

都市計画道路 浦安橋明海線シンボルロード整備事業

(表彰対象者：浦安市都市整備部)

表彰の理由

事業のデザインテーマとして、「みどり」「あかり」「みず」「れきし」を掲げ、埋立地区内における新たな緑の拠点整備をめざして、個性と魅力ある整備を行った。地元の商店主、デベロッパー、住民等を計画段階からとり込み協力関係を保持しながら、セットバック用地や公共緑地広場を活用して、広々として、しかもデザイン的にも優れた歩行者空間を整備したことなどが評価された。

事業のあらまし

浦安市は、海面埋立により市域を4倍に拡大し、東京ディズニーランドを中心とするアーバンリゾート地域として注目を集め、個性豊かな住宅都市として発展を続けている。JR京葉線の開業とその新駅周辺整備は、旧市街地と埋立地の新市街地とを結ぶ重要な都市軸上における新拠点地区整備で、浦安市の最重要課題と位置づけられていた。このため、新浦安駅周辺地区において、新都心にふさわしい都市景観形成をめざし、駅前広場や沿道の公園、緑地等を総合的に整備したものであり、シンボルロード整備事業は、これら事業の中でも中心的なものである。

- 延長：920m
- 幅員：80m
- 事業費：2,210百万円



JR京葉線新浦安駅より、海へ向かうシンボルロード。



新浦安駅前広場付近。

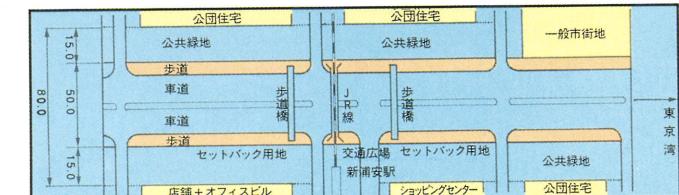


住宅側歩道は、おちつきのあるレンガ舗装。

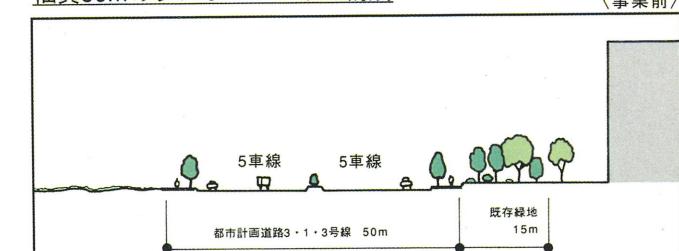


水路により親しめる水辺空間をつくる。

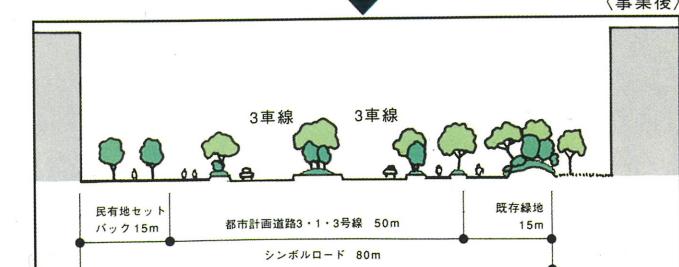
浦安シンボルロードの概略図



幅員80mのシンボルロードの構成



（事業前）



（事業後）

事業遂行上の工夫

デザインテーマとして、「みず」「れきし」「みどり」「あかり」を掲げ、埋立地区内における新たな緑の拠点整備をめざして、個性と魅力ある整備を浦安シンボルロード整備地元協議会等を発足させ事業を推進した。